

QRコードタイ国家標準開発事業

2009年5月26日

CICC 平成20年度 受託調査等事業報告会

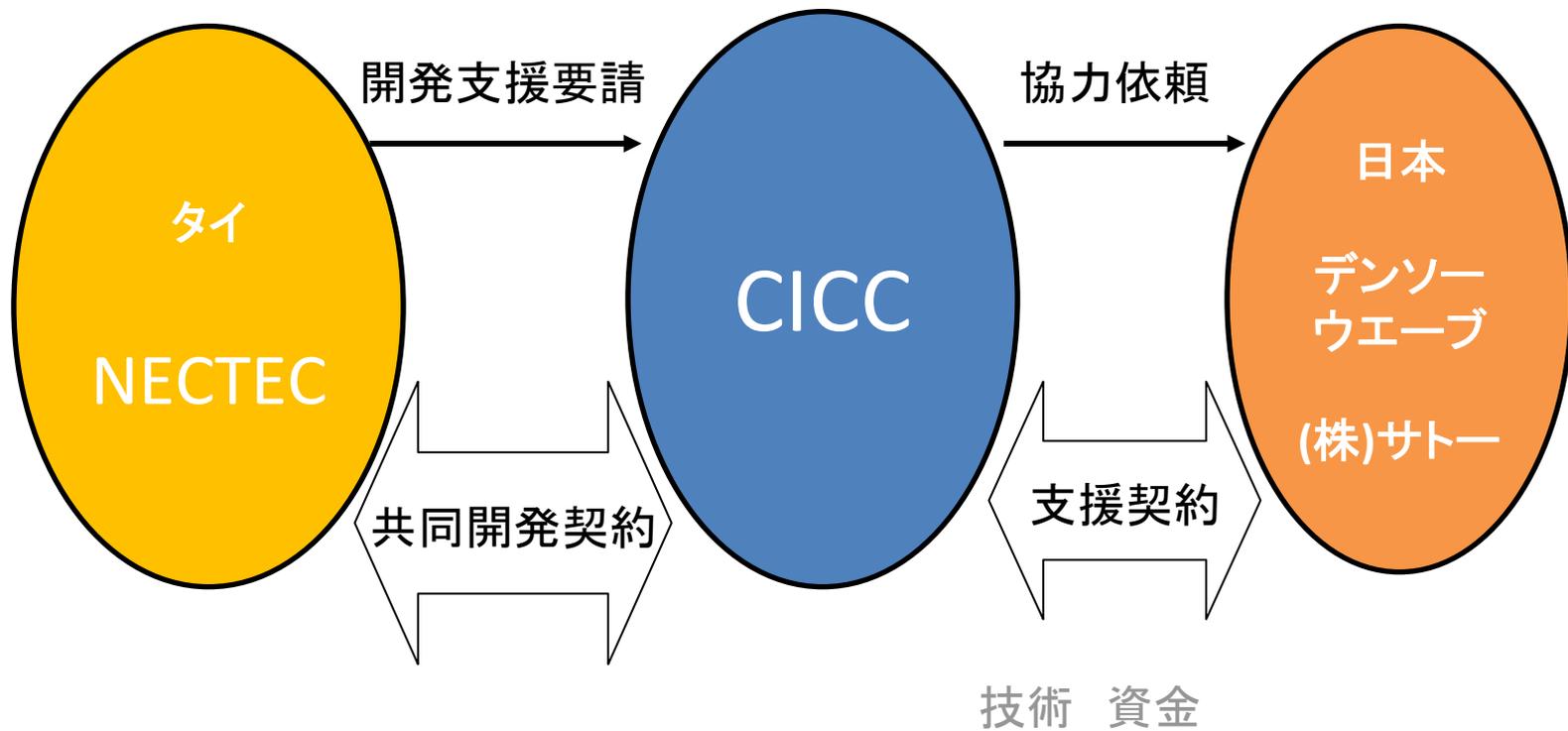
財団法人 国際情報化協力センター

顧問 佐藤 敬幸

目的

国際標準 ISO/IEC 18004 に
タイ文字機能(TIS-620)を拡張した
国際 & 国家標準両者に**整合**化した
QRコードのタイ国家標準原案を
開発し・タイ国家局に**提案**する

スキーム



スケジュール

- 契約締結 2008-04
- 相互技術交換（QR code技術 タイ語処理）
2008-05
- 構成検討終了 2008-08
- 一次Test program 交換 2008-11
- 評価結果検討 最終方針決定 2009-03
- 最終評価 & 標準形式決定 2009-05
- 標準原案完成 2009-07

狙い

- タイ進出製造工場と、日本工場との間にシームレスな製造工程を維持した、(社内)サプライチェーンを構築する
- QRコード関連製品の、タイでの市場を拡大する

Why QR Code for Supply Chain?

- Bar Code, RFIDに比べて大きなデータ容量
- RFIDに比べて安価

収容可能最大文字数の目安

数字	7089
ASCII	4296
8-bits Code	2950
漢字	1817

社内Supply-Chain

- 完成商品のSupply-Chainとは別物
- 生産工程の基本要素
- 各社の製造技術のknow-howが詰まっている
- 各社各様
- 各社が自由に改善を継続
- 海外工場も自社工程の延長という考え方

Just in Time vs. Just in Case

Pipe Line Inventoryの管理は、コスト効果だけではなく 品質効果が高い

Just in Case管理はコスト高・低品質の原因となる が……

Why 大容量データ？

自動 vs. 自働 議論

人偏つき(自働)の生産技術が念頭にある
これは、日本が得意で
自動車産業発の考え方

最終的には困り込みとシステム販売が狙い？

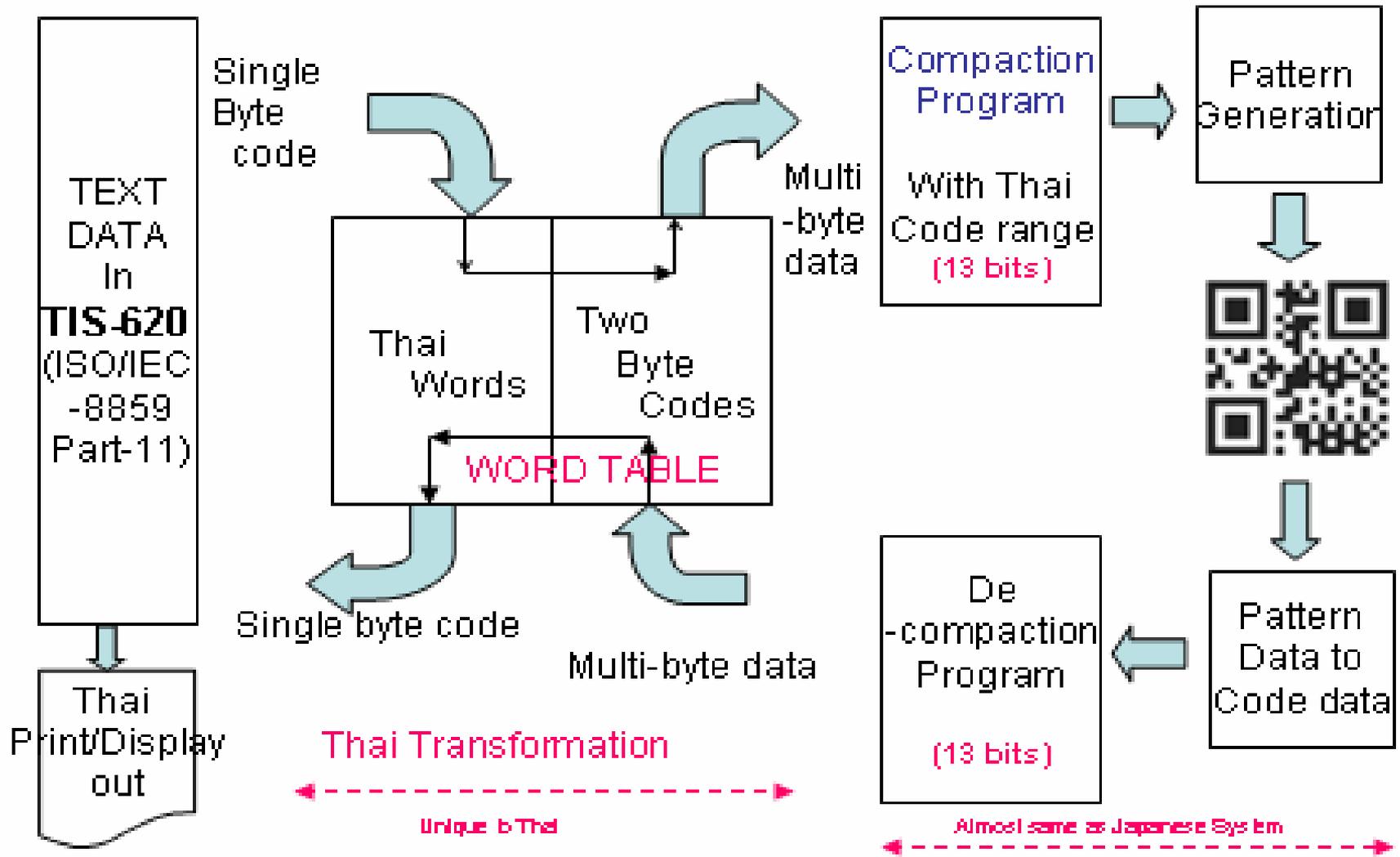
データ圧縮が必須

しかし

完全新規開発は避けたい

Block Diagram

(after Sep. 5, 2008)



この方法の利点・欠点

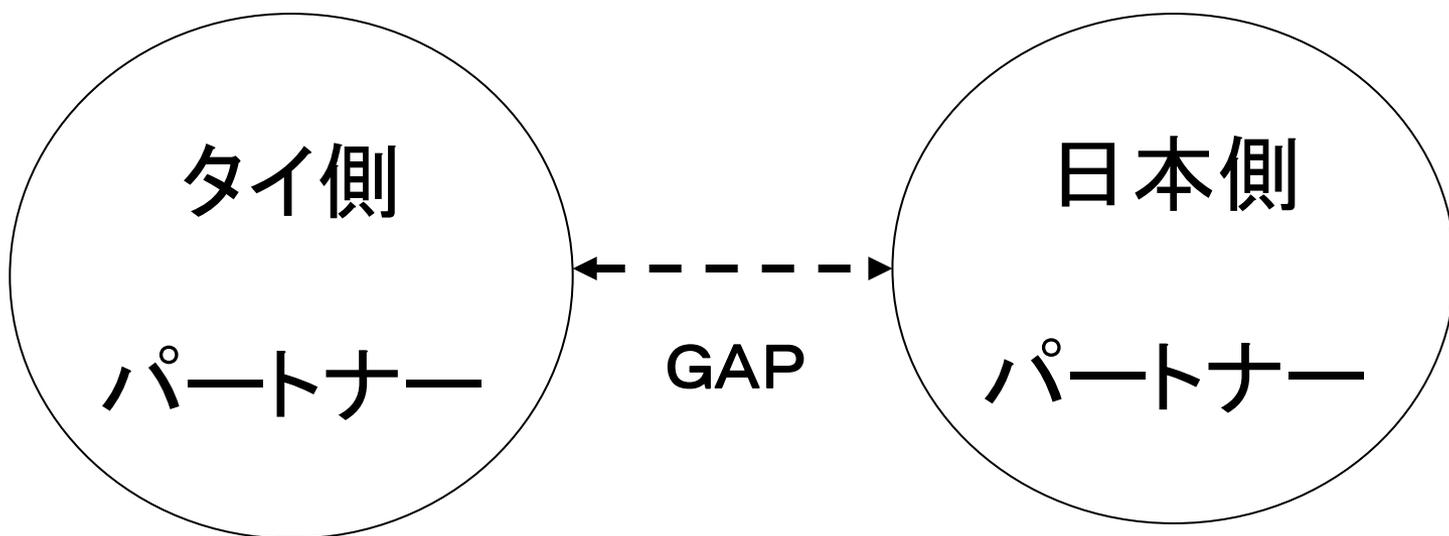
QRコード度共通部分とタイ独自部分の完全分離

- 実証済み部分の最大利用
- 新規開発部分が完結している
- タイと日本側に、フリーハンドがある
- 南・東南アジア系文字に拡大可能

- タイと日本側それぞれに、それぞれ“改良”の可能性を残している。
- 同様に、各開発者に“改良”の余地があり 市場での競争を期待している (DVDの轍は踏みたくない)

- 最適・万能の唯一の単語表は可能なのか？ 理論的には無理だが 実用的には？

CICCの役割



両パートナーの間で、意欲は一致したものの
技術的なプロジェクトの実施に関しては、ギャップや遠慮が見られた
これを埋める役割を果たす必要がある →CICC

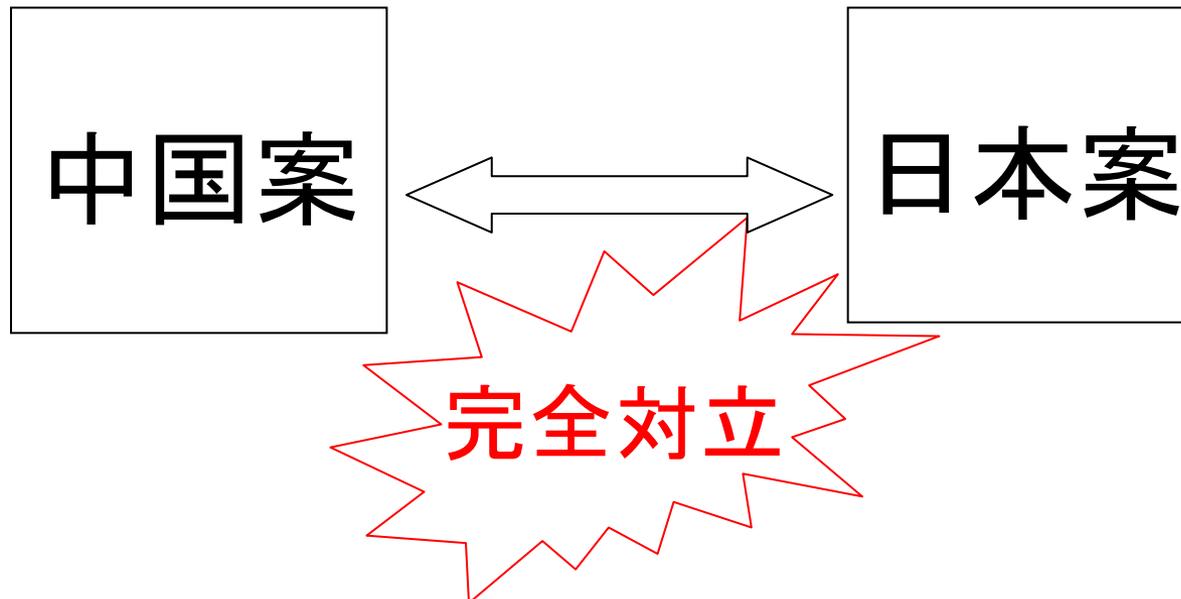
単なるマッチメイキングでは不十分な場合がある

マッチメーカーキング以外の役割

- 両者の知識の橋渡し(夫々が理解できるように)
 - 技術的な方針決定 解説
 - 評価方法決定
 - 試験結果分析
 - 最終方針決断
 - 時にスケジュール管理
-
- つまり、ある種のプロジェクト・マネージメントをしないと国際共同プロジェクトは動かない場合がある

唐突ですが
北東アジアOSS推進フォーラム
WG3の事例

NEAOSSWG3 WR00001、IME-SPIの標準化

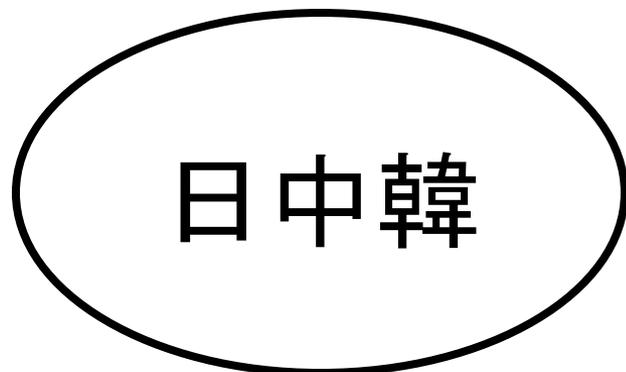


ガラパゴス日本 vs. 応急処置中国



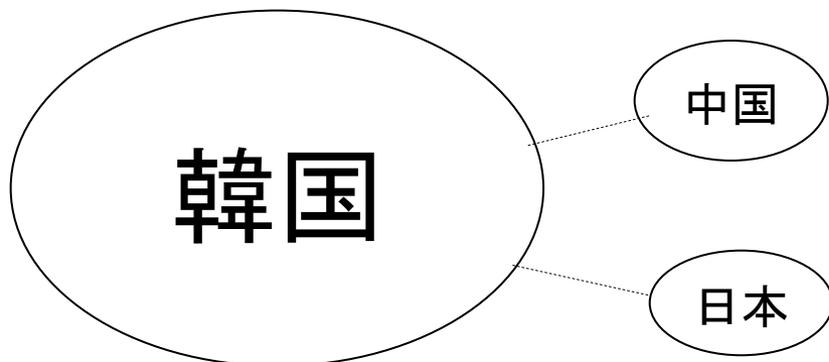
効果的だった共同プロジェクト例

NEAOSSWG3-TR00003 Web Data Inter-Operability



参加三国の
問題意識と
対応案が
一致していた

NEAOSSWG3-TR00004 Solutions for TR00003



1国が
突出した関心と
活動を行った

他2国は消極的

事前・事後活動

- RFIDなどを目玉に3年以上の予備活動が行われている
- 各種標準化関連活動への参加依頼
- Target Persons との Off-Line 根回し
- 今後の市場開拓が鍵
- 社内Supply-Chainで、最低限の投資の回収は可能

結び

- 納得のできる国家標準が出来そうである
- 日タイ win-winになりそう
- 市場での競争の余地が残してある

- CICCの事業の一つのモデルになるか
- 案件によっては、CICCの負担が大きい場合もあるが

- 国際共同開発事業の事前検討事項

ご清聴ありがとうございます